

号外！

次もやります！8月です！この三人です！

第17回 佐世保かっちえて落語会

入船亭扇遊・柳家喬太郎・入船亭扇辰

この組合せは初めてであり、いずれの師匠も落語ファンの間では非常に人気があり、その実力を高く評価されている方ばかりです。特に扇遊さんは今年の三月、文化庁が芸術分野で優れた業績を挙げた人に贈る芸術選奨大衆芸能部門で、文部科学大臣賞を受賞。ちなみに扇遊さんと同時に受賞したのは歌手の「石川さゆり」で、彼女のことを知ってる人は多いでしょうが・・・入船亭扇遊と石川さゆりは、芸能において“同じ価値”ある存在なのです。もちろん私にとっては、扇遊さんが上ですが、ま、そのあたりは人の好み、好き好きだとしまして・・・なぜ、こういうことを書くのか“わかる人”にはわかりますよね？・・・え？わからない？・・・そういう人は次回の、この会に来てもらえればわかりますよ。なんたって、こういう三人ですから。

入船亭扇遊：いなせな風貌といい、その粋で明るい芸風は、いつの間にか観客を江戸情緒の世界へと引き込む古典落語の名手。口跡（セリフまわし）や所作がきれいであり、古典本来の楽しさを伝える高い技量と品格さえ感じる高座は、日本に落語文化があってよかった、と思わせてくれるほどの噺家である。

柳家喬太郎：現代的な新作落語と古典落語の両方で落語ファンを魅了し、その独創的な解釈と大胆な演出は“喬太郎ワールド”と称されていて熱狂的な人気がある。第1回目に来てくれた時の、圧倒的な面白さは今も語り草になっており、「喬太郎を見たから聴いたから、落語が好きになった」という人は多い。

入船亭扇辰：若い頃から正攻法の古典の演者として期待され、軽い滑稽噺から情感あふれる人情噺まで持ちネタは幅広く、その柔らかで落ち着いた雰囲気と端正な口調、繊細な演技力は非常に高く評価されている。まさに、今を生きる古風な本格派であり、その高座はいつも清々しい。乞うご期待の、初登場である。

どうです？ こういう三人の落語を次回も聴くことができるんですよ。しかも扇遊さんは扇辰さんの兄弟子で、扇辰さんと喬太郎さんは入門した時期が同じで、それぞれとても仲がいいし、そういう雰囲気は高座に出るし、お客様に伝わるし、相乗効果で会場全体が、いい空気に包まれるんです。あなたも“落語的いい空気”を感じにいらっしゃいませんか？

(文責・海老原靖芳)

2018年8月5日(日)

開演午後4時

佐世保コミュニティーセンター5F

大人指定席：2,500円 自由席：2,000円

小中高生：1,000円(指定席・自由席ともに同じ)

〈チケット販売は約2ヶ月前です〉

※チケット販売・問合せ先

佐世保かっちゃんて落語会・実行委員会 事務局

佐世保市千尽町 2-5 観光交流センター2F Soup-Up させぼ内

Tel:0956-32-0888 / Fax:0956-59-8151

営業時間：月～金 9時～18時

-----切り取り線-----

〈指定席希望者のみご記入ください〉

◆ 指定席 大人()枚・子供()枚

〒

ご住所 _____

ご氏名 _____

電話・FAX 番号 _____

第17回

佐世保かっちえて落語会

入船亭扇遊 柳家喬太郎 入船亭扇辰



扇遊



喬太郎



扇辰

見るからに“いなせ”な風貌といい、その粋で明るい芸風はいつの間にか観客を江戸情緒の世界に引き込む、古典落語の名手である。

新作落語と古典落語の両方でファンを魅了し、その独創的な解釈と大胆な演出は、“喬太郎ワールド”と称され、熱狂的な人気がある。

古典落語の本格派であり、端正な口調と繊細な表現力は落語通の間でも非常に高く評価されており、その高座姿は凛として清々しい。

前座 | 佐世保かっちえて落語っ子

古川 万葉 (広田小3年)・江口 慧 (愛宕中2年)・朝長 心 (北中2年)・松尾 壮馬 (祇園中2年)
古川 咲弥 (高専1年)

◆日時: 2018年 **8月5日(日)** 開場 / 午後3時30分 開演 / 午後4時

◆会場: **佐世保コミュニティーセンター5F**

◆料金: <大人> 指定席 / **2,500円** 自由席 / **2,000円**
<小中高生> 全席 / **1,000円**



<チケット販売 / 問い合わせ先>

佐世保かっちえて落語会 実行委員会事務局
佐世保市千尽町2-5 観光交流センター 2階 Soup-Up させぼ内

TEL0956-32-0888
(月~金 午前9時~午後6時)